

一般国道153号

いなん  
伊南バイパス

(道路事業)

説明資料

平成28年9月30日

中部地方整備局  
飯田国道事務所

# 目 次

1. 一般国道153号 <sup>いなん</sup> 伊南バイパスの事業概要	
(1)事業目的	P 1
(2)計画概要	P 2
2. 評価の視点	
(1)事業の必要性等に関する視点	P 3
①交通渋滞の緩和	P 3
②交通安全の確保	P 3
③救急医療活動の支援	P 4
④生活環境の改善	P 4
⑤ストック効果事例(企業の物流効率化、生産性向上を支援)	P 5
⑥ストック効果事例(地域活性化の支援)	P 6
3. 事業の進捗及び見込みの視点	P 7
4. 県・政令市への意見聴取結果	P 7
5. 対応方針(原案)	P 7

# 1. 一般国道153号伊南バイパスの事業概要

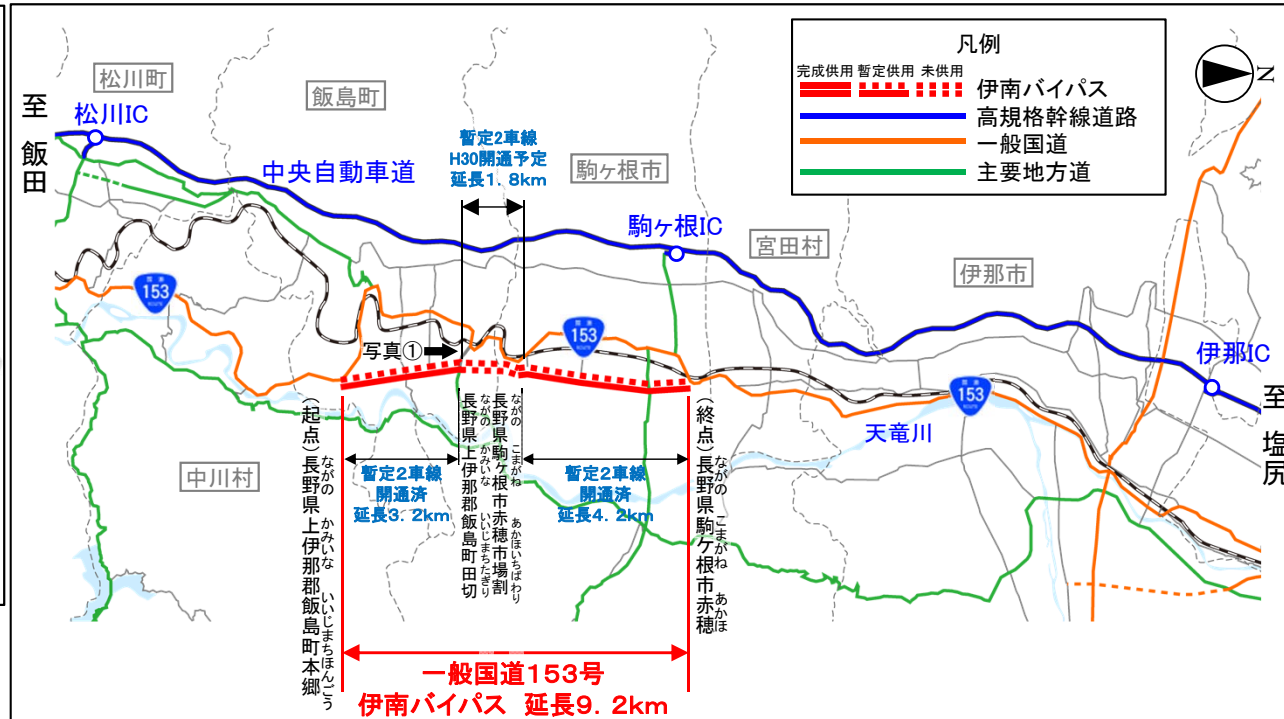
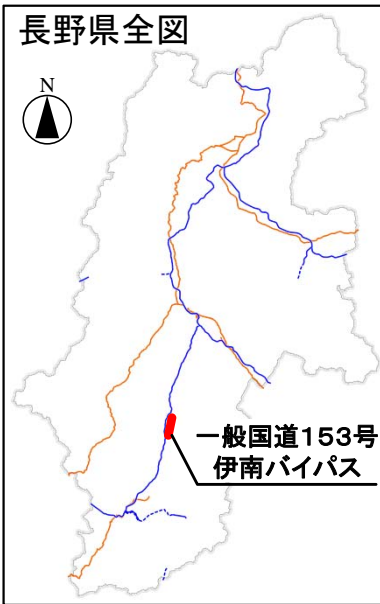
## (1) 事業目的

一般国道153号伊南バイパスは、長野県上伊那郡飯島町本郷から長野県駒ヶ根市赤穂に至る延長9.2kmのバイパスであり、長野県からの権限代行を受け、交通渋滞の緩和、交通安全の確保、救急医療活動の支援や生活環境の改善を目的に計画された道路です。

飯島町本郷から飯島町田切の3.2kmと駒ヶ根市赤穂市場割から駒ヶ根市赤穂の4.2kmについて暫定2車線開通済みであり、交通渋滞の緩和や生活環境の改善に寄与しました。

残る区間の並行する現道等には線形不良箇所、冬期路面凍結箇所が存在するなど多くの課題があり、引き続き事業を推進することで、線形不良箇所の回避等の効果を見込んでいます。

## 伊南バイパスの全体位置図

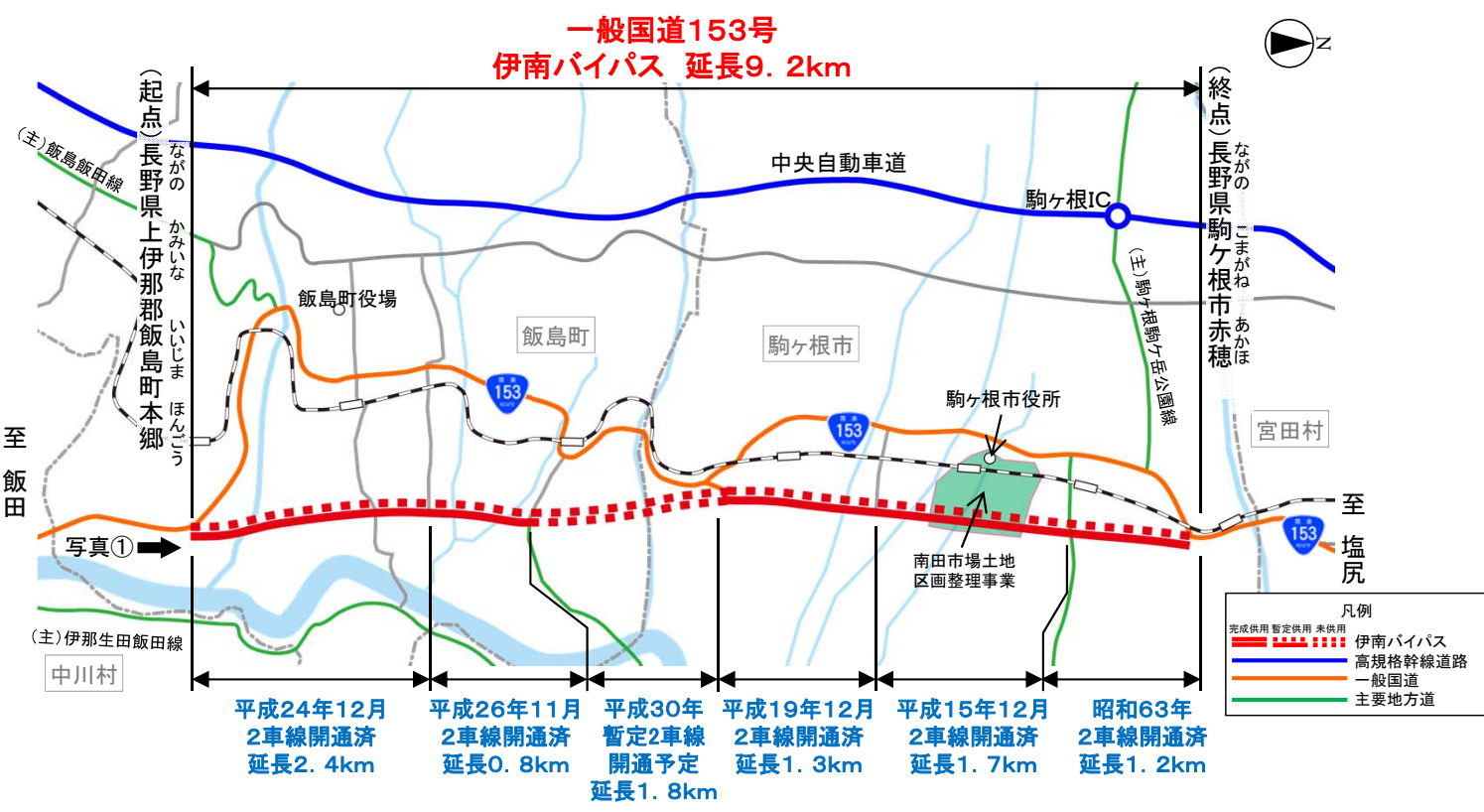


至飯田  
起点側から終点側を望む

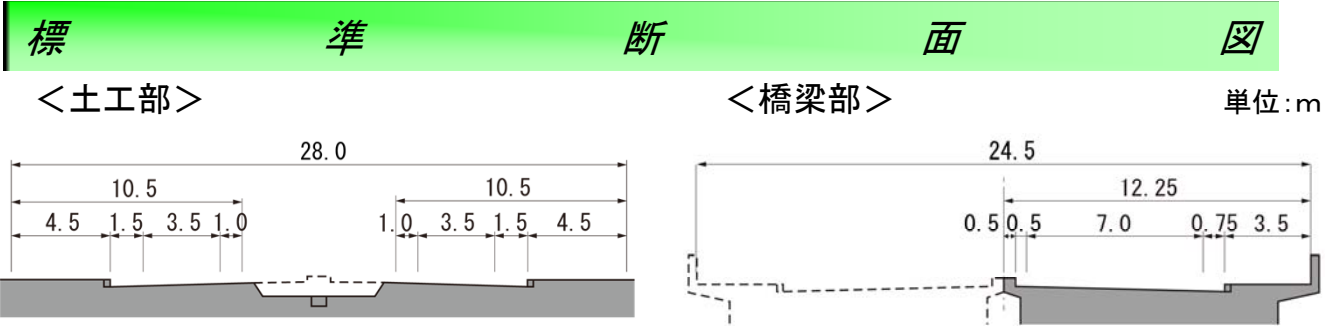
# 1. 一般国道153号伊南バイパスの事業概要

## (2) 計画概要(伊南バイパス)

伊南バイパスは、平成9年度に事業化し、平成26年度迄に飯島町本郷から飯島町田切の3.2kmと駒ヶ根市赤穂市場割から駒ヶ根市赤穂の4.2kmが暫定2車線で開通しています。



事業名	一般国道153号 伊南バイパス
道路規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	暫定2車線(完成4車線)
都市計画決定	平成9年度
事業化	平成9年度
用地着手年度	平成10年度
工事着手年度	平成13年度
延長 (平成27年度末)	9.2km (うち暫定2車線開通済7.4km)
前回の再評価	平成25年度 (指摘事項なし:継続)
全体事業費	412億円(増減なし)
B/C	2.1





# 2. 評価の視点

## (1) 事業の必要性等に関する視点

### ① 交通渋滞の緩和

- 国道153号現道では、交通集中による渋滞が発生し、日常生活に影響を及ぼしていました。
- 駒ヶ根工区の全線供用により、現道の交通がバイパスに転換し、駒ヶ根市内の渋滞が緩和されました。

■ 駒ヶ根工区供用前後の国道153号現道(駒ヶ根市)の交通状況



駒ヶ根中心街の慢性的な渋滞が解消

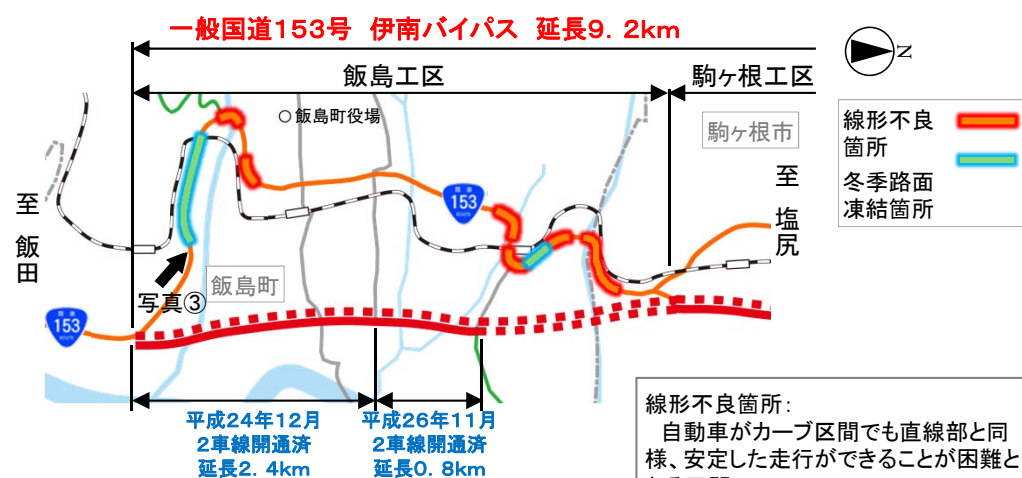
慢性的な渋滞により消防車の活動に支障



### ② 交通安全の確保

- 国道153号現道の飯島町内は、伊那谷特有の河岸段丘により、急激な起伏や線形不良箇所が多く存在しています。
- 飯島工区の一部供用により、線形不良箇所や冬期路面凍結箇所などが回避可能となり、安全・安心の交通が確保されました。
- 残り区間も線形不良箇所や冬期路面凍結箇所があり、供用により、さらに安全・安心の交通が確保されます。

■ 国道153号現道の線形不良箇所および冬期路面凍結箇所



線形不良箇所:  
 自動車がカーブ区間でも直線部と同様、安定した走行ができることが困難となる区間  
 (平面曲線半径R=150以下の箇所)



凍結による大型貨物のスリップ事故が発生  
 この事故の影響により  
 国道153号4時間通行止め

#### 【沿線住民の声】

- ・トレーラー事故で、4時間通行止めとなった。バイパスがなかったら、大渋滞が発生したと予想され、バイパスの効果はとて大きい。
- ・国道153号現道は日陰となり、雪がなかなか溶けず、昔から凍結区間が鬼門だった。

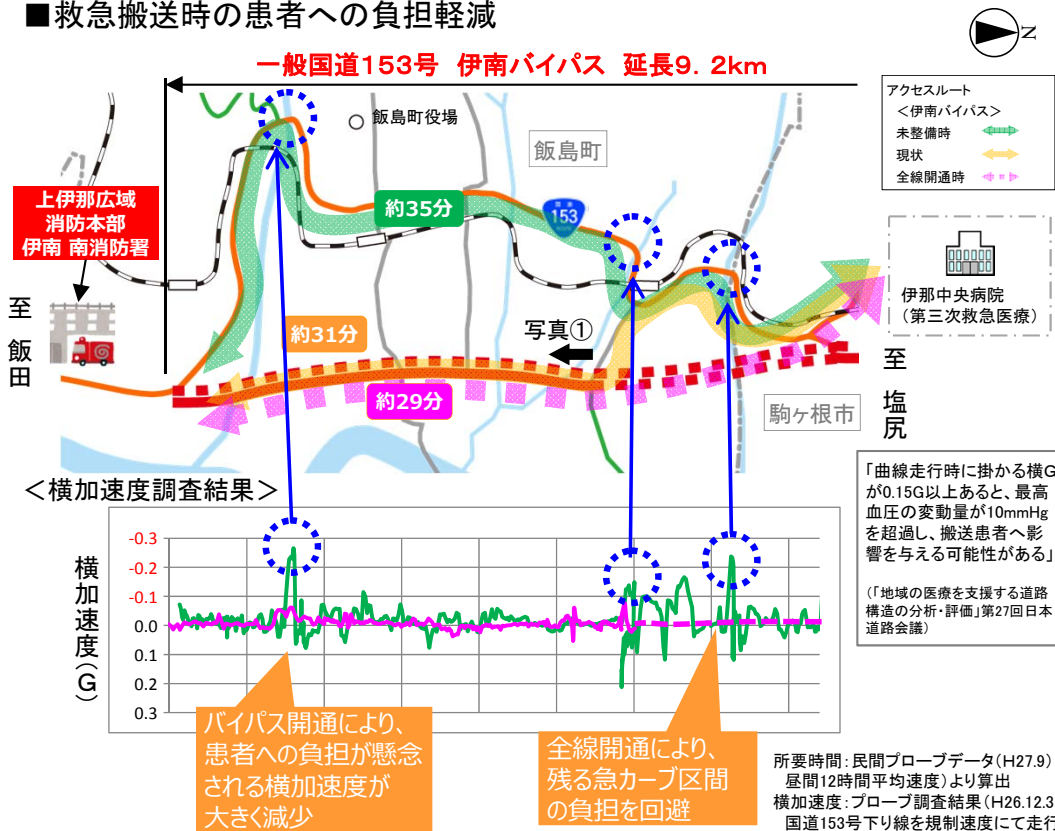


# 2. 評価の視点

## ③ 救急医療活動の支援

- 所要時間の短縮、急カーブ区間の回避により、救急医療活動の支援に繋がっています。
- 全線開通により、残る急カーブ区間の課題も解消され、さらに消防・救急活動の支援となることが期待されます。

### ■救急搬送時の患者への負担軽減



### 【南消防署の声】

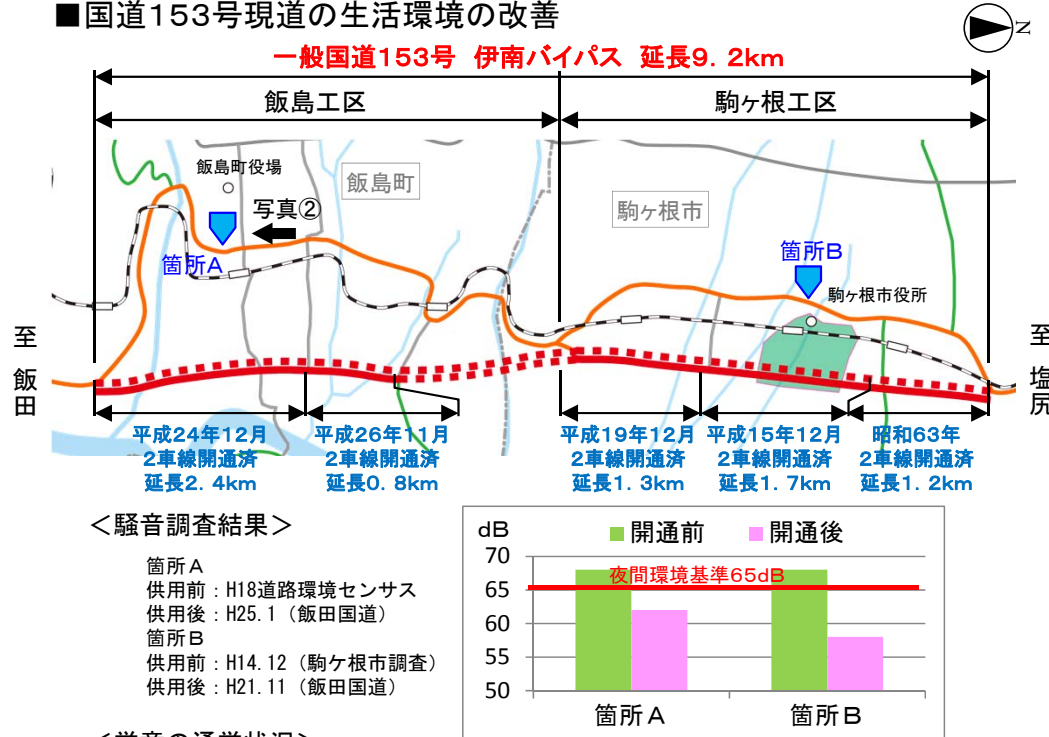
- 患者の負担は確実に軽減されていると感じる。
- 田切地区への消防活動はしやすくなった。前回開通と合わせ、3～4分程度短縮していると思う。
- 現道のカーブ区間では処置がしにくかった。バイパスでは安定して処置が行えるようになった。



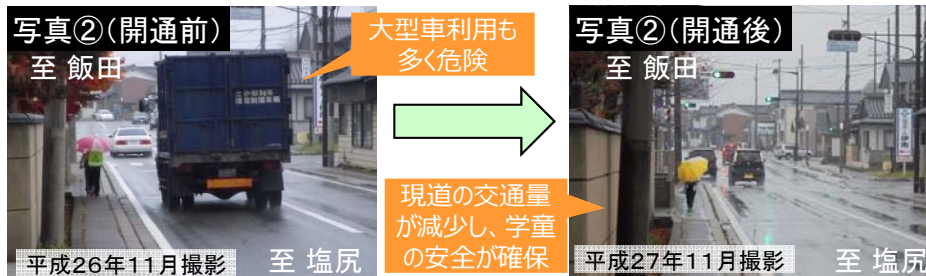
## ④ 生活環境の改善

- 駒ヶ根工区的全線開通、飯島工区の一部開通により交通がバイパスに転換し、騒音が環境基準を下回りました。
- 現道の交通量の減少により、学童の通学時の安全が確保されました。

### ■国道153号現道の生活環境の改善



### ＜学童の通学状況＞



### 【教育委員会の声】

現道の交通量が減少し、横断の際の危険性が低減しました。



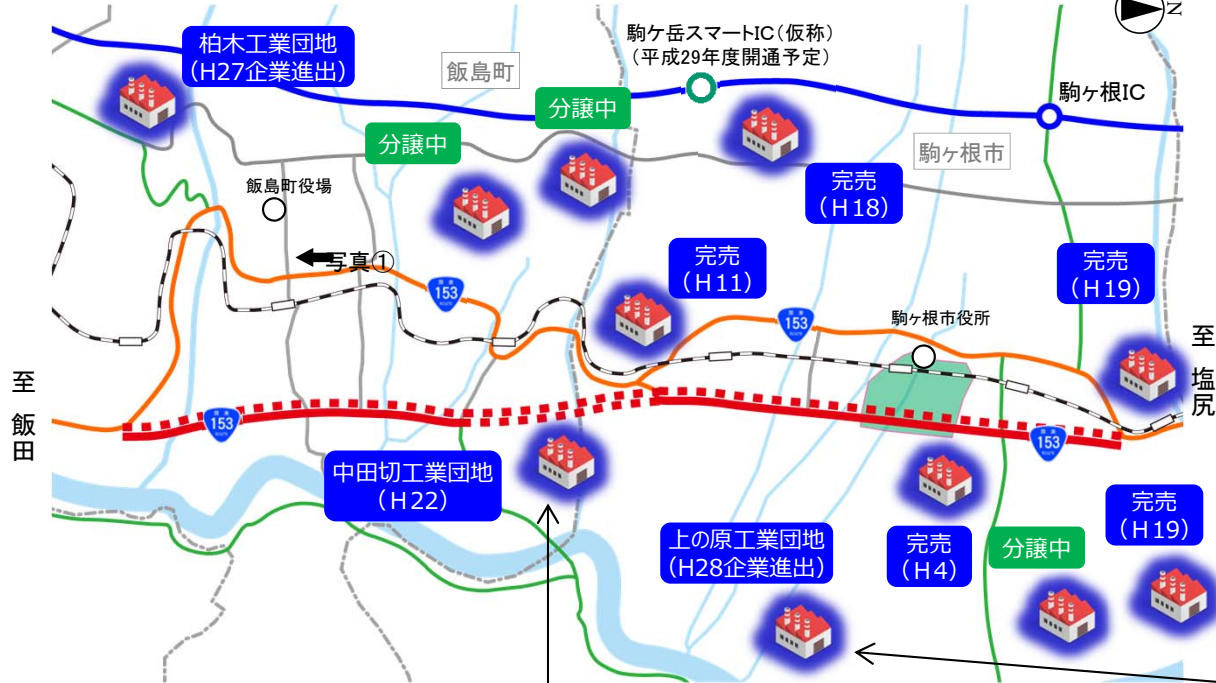


# 2. 評価の視点

## ⑤ ストック効果事例(企業の物流効率化、生産性向上を支援)

- 伊南バイパス沿線の駒ヶ根市や飯島町では、工業団地の企業立地面積が年々増加しています。
- 飯島町の工業団地では平成22年に味噌の国内販売数量全国第3位の企業が加工工場を拡張、駒ヶ根市の工業団地では平成28年5月に自動車関連企業が立地協定を結ぶなど、新たな企業が立地予定です。
- 全線開通により、周辺企業の更なる物流効率化及び企業立地を支援することが期待されます。

### ■駒ヶ根市・飯島町の工業団地立地状況

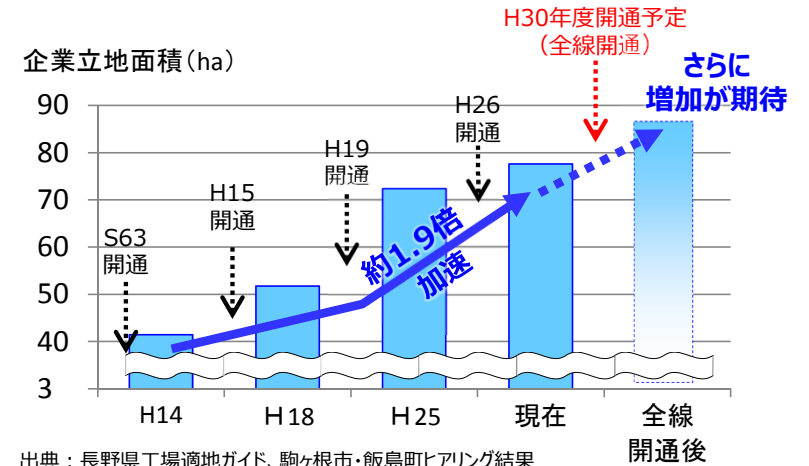


### ■中田切工業団地の企業立地状況



- 中田切工業団地には、味噌の国内販売数量全国第3位の企業の工場が立地
- 本企業は、中央自動車道により3大都市圏へ商品を発送
- 平成22年に工場を1.5haから7.5haに拡張

### ■伊南バイパス周辺工業団地の企業立地面積の推移



出典：長野県工場適地ガイド、駒ヶ根市・飯島町ヒアリング結果

### ■上の原工業団地に新規企業が立地 (H28.5)



国道153号バイパス整備により  
伊那谷地域の南北軸の  
アクセス性が向上

事業の効率化  
生産性の向上

伊南バイパス周辺工業団地  
へ企業進出

<H28.5 新規立地企業>

飯田市、伊那市に点在する営業所及び事業所を上の原工業団地に  
移転・集約

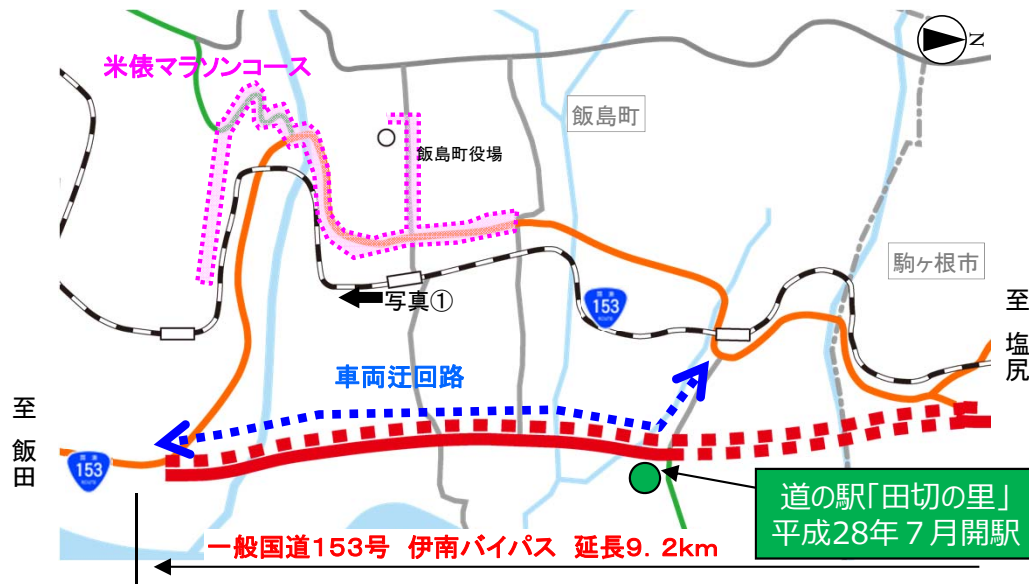


# 2. 評価の視点

## ⑥ ストック効果事例(地域活性化の支援)

- 国道153号現道を利用した「世界でこだけ！！魅力いっぱい米俵マラソン！！」の第3回が平成27年11月29日に開催されました。伊南バイパスの一部が開通したことで、平成25年より現道を利用したイベントができるようになりました。
- 伊南バイパス沿線では、平成28年7月16日に「道の駅 田切の里」が開駅しました。
- 伊南バイパス全線開通と道の駅の開駅が相まって、地域産業の活性化が期待されます。

### ■ 国道153号現道を活用した米俵マラソン大会の開催と道の駅田切の里



<「道の駅 田切の里」が平成28年7月16日に開駅>



平成28年7月撮影

<世界でこだけ！！魅力いっぱい米俵マラソン！！>



#### 【職員の声】

伊南バイパスの開通により、現道の迂回路が確保されたため、国道153号現道を利用したマラソン大会を開催することができるようになりました。



#### <主な施設(予定含む)>

- 高齢者、一人暮らし者支援事業、
  - ・ 買い物、宅配サービス、安否確認サービス
- 産業振興ステーション
  - ・ 農産物等販売所、農民レストラン
  - ・ 手打ちそばの店
- 総合情報ステーション
  - ・ 総合案内、観光案内 など



平成28年7月撮影

#### 【地元農家の声】

道の駅には、生産者直売所があります。道の駅と伊南バイパスができることにより、駒ヶ根方面からの来訪者が増加し、交流が活性化することを期待している。





## 3. 事業の進捗及び見込みの視点

### 1) 事業の進捗状況

■事業進捗率は**約79%**、用地取得率は100%に至っています。(平成27年度末)

(参考) 前回再評価時：事業進捗率は**約68%**、用地取得率は100%(平成24年度末)

### 2) 事業の進捗の見込みの視点

■上伊那郡飯島町飯島から上伊那郡飯島町田切(延長0.8km)は平成26年11月29日開通しています。

■残る、上伊那郡飯島町田切から駒ヶ根市赤穂(延長1.8km)は、早期開通を目指し、工事を推進します。

## 4. 県・政令市への意見聴取結果

### ■長野県の意見

一般国道153号「伊南バイパス」は、交通渋滞の緩和や交通安全の確保、救急医療活動の支援や生活環境の改善等に寄与する必要不可欠な事業です。

については、事業を継続し、積極的な予算確保により、早期開通を図るよう強く要望します。

また事業の実施に当たっては、一層のコスト縮減に努められるようお願いいたします。

## 5. 対応方針(原案)

■一般国道153号 伊南バイパスの事業を継続する。